



手話

毎週水曜日の夜、町老人福祉センターでは、手話講習会が行われています。

参加者は、町内の主婦から会社員、学生など様々で、一生懸命学習しています。

4月9日、1年間の講習会を終えた生徒は、終了証書を行いました。

今月の内容

平成9年度当初予算	2~5
平成8年度の主な事業	6~7
廃棄物最終処分場完成	8~9
シリーズ 町の歴史	10~11
ふるさとへの便り	12
紙面国際交流コーナー	13
まちの話題	14~15
町の人事異動	16
図書室だより	17
お知らせ	18~19
いきいきさん	20

いきいきさん (10)

いい物に出会って

私は生き甲斐を感じた

限田原 昌恭 さん



開運出世の縁起物として有名な『だるま』。その基になったのは、禅宗の始祖である達磨大師で、座禅を組んだ姿をまねたもの。そのだるまに魅せられ、だるまの水墨画（水墨禅画という）を描く植木にお住まいの限田原昌恭さん七十一歳。

限田原さんがだるまに興味を持ったのは、今から約十年前の昭和六十二年。当時、新聞紙面に掲載してあった水墨禅画の通信教育案内を見てからといえます。

「切っ掛けは、実に単純です。だるまの絵は、簡単に描けると思ったからです。」

限田原さんは、幼いころから筆字を得意とされ、小学校時代は、数々の習字大会に選抜されたほどの腕前。法務局に勤務されていた時分も書類作成には筆を用いていたそうです。

「水墨禅画は、顔彩（水墨禅画に用いる特殊な墨汁）の色の濃淡が大切です。濃くてもだめ、薄くてもだめ。その微妙な加減が難しいですね。だから、無心になって描きます。」

「最近では、多い時で一日四枚ほど描きます。一枚を描くのに二時間ぐらいかかりますね。」

この十年の間に、描いた水墨禅画は千枚以上に及び、そのほとんどは、知り合いや欲しい方に差し上げています。

「だるまの表情は、意外と知られていませんね。目を閉じているものや立っているものなどいろいろありますよ。じつと眺めていると面白いですね。」

四月一日から四日までの四日間、改装工事で新しくなった三股郵便局のオープンを記念して、限田原さんは、初めて個展を開きました。

「郵便局の職員の皆様のおかげで個展が開けました。多くの方々に見てもらえて本当にうれしく思いました。」

「私にとって、だるまとの出会いは、人生を大きく変えたものと言えます。生涯を通じて楽しめるもの。そして生き甲斐を感じるもの。それが水墨禅画です。」

展示作品は、力強さあふれる中に限田原さんの優しい気持ちが見られ、だるまの大きい目は、見る者を釘付けさせました。

三股町の人口

平成9年4月1日現在

男	11,186人	出生	25人
女	12,351人	死亡	17人
計	23,537人	転入	242人
前月比	-108人	転出	358人
世帯数	8,293戸(-20戸)		

●先月、わが家に二人目の子どもが誕生しました。父親として頭を悩ませたのが、名付けです。

よし、付け出しまでに2週間の猶予がある。1週間目には役場に出生届を提出するぞ、その気持ちとは裏腹に、悩みに悩み時間は経つばかり。次第にあせりはじめ、とうとう期限切れの日がやってきた。よし、決まった。これでいい。そういえば、長女のときも同じだったなあ。

●広報担当になって、はや1年が経過し、2年目に突入します。自動車の免許証であれば、若葉マークが取れ、ドライバートとして認められる時。

私は、しばらくは若葉マークをつけてないと、周りが冷や冷やしているのではと考えます。こんな私ですが、最低でもこれから1年間は、お付き合いしてください。がんばります。よろしくお願います。

M・Y

編集後記

活力ある三股町を目指して!

予算総額143億1,938万円

三股町の平成九年度各会計当初予算が、先の平成九年第二回定例町議会において、山元町長から提案され、一部修正可決されました。

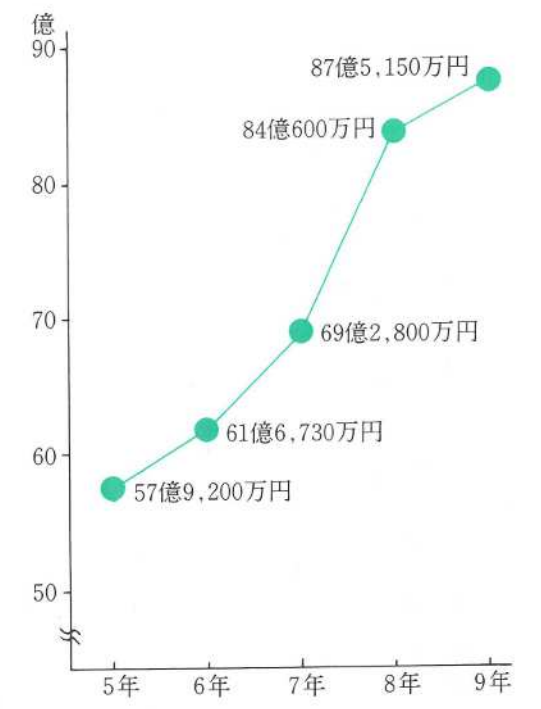
予算総額は、百四十三億一千九百三十八万円です。これは、平成八年度当初予算に比べ4・8%の伸び（一般会計は八十七億五千五百五十万円、対前年比4・1%増）となっています。

三股町は、昭和二十三年の五月に町制を施行し、来年の五月で町制施行五十周年という節目の年を迎えます。

そこで、今年度の予算は、町制施行五十周年、そして来る21世紀に向けて、さらに活力ある町づくりを推し進めていくと、積極的な予算編成を行ないました。

今月号では、平成九年度の一般会計当初予算の概要と主な事業について紹介します。

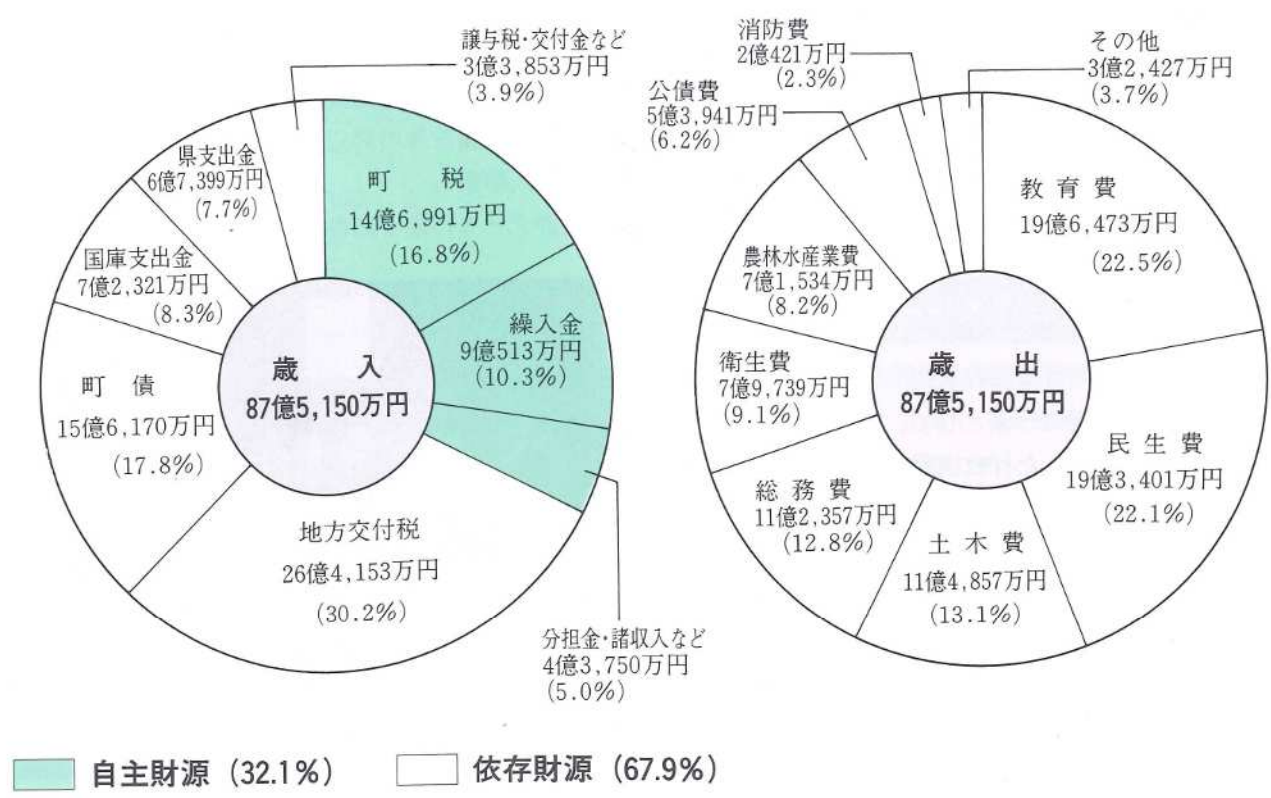
一般会計の当初予算の移り変わり



会計別予算

区分	予算額 (万円)	対前年比 (%)	
一般会計	87億5,150	104.1	
特別会計	国民健康保険	18億7,683	110.5
	老人保健	24億 575	106.1
	農業集落排水事業	1億7,997	73.9
	小計	44億6,255	106.0
企業会計	国民健康保険病院事業	7億8,530	101.9
	水道事業	3億2,003	108.8
	小計	11億 533	103.8
合計	143億1,938	104.8	

一般会計性質目的別予算



施政方針



三股町長 山元 勝博

私は、町長に就任して今日まで、その責任の重大さを身をもって痛感しつつ、町政の執行に努めて参りましたが、議会議員の皆様をはじめ、町民各位から賜りました温かいご理解とご指導及び力強いご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

今後はとも議会議員の皆様をはじめ町民各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私の任期も後半に入りまして、町政運営にあたりましては、私の公約であります「やさしいまち三股町づくり」をモットーに「誇れる三股町の再生」を目指して、引き続き積極的に取り組んで参りたいと思っております。

まず、「人にやさしい町づくり」であります。すべての町民が安心して過ごせる、豊かな福祉の町づくりと、「文教の町三股町」の復活をめざし、喜びと生きがいを感じる生涯学習の推進を図って参ります。

次に、「自然にやさしい町づくり」と致しましては、花と緑と水のまち、三股町の自然を生かした環境の整備を図り、住み続けていきたいまちの建設と農業を中心とした生産基盤の整備を図って参ります。

そして、最後に「活力ある町づくり」であります。恵まれた風土を生かし、すべての町民が誇りと、喜びを味わいながら定住する町づくりをめざし、農畜産業や、商工業の活性化を図って参ります。この、3つの公約を基本とし、事業実施にあたっては、三股町総合計画並びに実施計画に基づき町民各位のご助言を広く拝聴し、開かれた温もりのある町政に努めて参りたいと存じます。

(中 略)

私は常に「町政は、町民みんなのものである」ことを念頭において、その執行にあたって参る所存であります。

議会議員の皆様をはじめ、町民各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

あたたかみのある福祉の町づくり

- ◎温泉開発施設整備事業(新) 1億7,200万円
温泉施設建設のために、掘削工事を行ないます。
- ◎高齢者等住宅改造事業 1,000万円
高齢者や障害者が快適な暮らしができるように住宅を改造する場合、改造費の一部を助成します。
- ◎老人訪問介護ステーション建設事業(新) 150万円
自宅で寝たきりの患者に対して訪問介護を行なうための施設を建設するために、今年度は設計を委託します。
- ◎母子保健事業 908万円
1歳半児、3歳児の健診や妊婦乳幼児の健診を行ないます。
- ◎人間ドッグ事業 1,452万円
成人病予防のために簡易人間ドッグ及び、40歳到達者の人間ドッグを行ないます。

活力ある産業の町づくり

- ◎21世紀を担うむらづくり事業 3,340万円
中核農家の育成を図るため、共同利用する農業用機械購入と組合の運営に対して補助金を交付します。
- ◎優良家畜導入事業 1,134万円
優良な肉用牛の導入に対して補助金を交付します。
- ◎普通林道開設事業 5,793万円
林業の振興を図るために、民有林道を開設します。
高畑林道 2,500m
- ◎ふるさと農道緊急整備事業 4,200万円
農地の高度利用を図るため、農道網を整備します。
- ◎三股駅周辺等整備開発事業 300万円
駅周辺の整備基本計画を作成します。



町東部の人口減少に歯止め

- ◎過疎地域定住促進奨励金制度(新) 400万円
町東部に位置する梶山・長田地区の人口減少と両小学校の児童数減少を解消するために、当該地区に転入、転居して1年以内に家屋を新築または購入した人、及び転入・転居した世帯に小学生以下がいる場合に奨励金を支給します。



自然と調和した快適な環境の町づくり

- ◎合併浄化槽設置補助事業 3,089万円
河川の汚染防止を目的に、小型合併浄化槽を設置する人に補助金を交付します。今年度は60基を予定。
- ◎リサイクルセンター整備事業(新) 1億2,405万円
一般廃棄物埋立処分場の敷地内に、空き缶など資源ごみをリサイクルするための施設を建設します。
- ◎環境基本計画推進事業(新) 1億2,809万円
一般廃棄物埋立処分場の周辺環境を整備するために、

- 公園や散策路を設けるほか、樹木を植えます。
- ◎都市公園整備事業 3億900万円
上米公園と植木公園の広場を整備するほか、休憩施設、遊技施設などを設置します。
- ◎自然公園ふれあい施設整備事業 8,535万円
観光の拠点の一つ「長田峡」の整備を行ないます。
- ◎公共下水道事業 2,000万円
公共下水道の整備のため、今年度は測量調査、設計を行ないます。
※(新)は今年度から始まる新しい事業です。



豊かな人間性を培う文教の町づくり

- ◎三股中学校整備事業 3,219万円
三股中学校北校舎の外壁塗装工事を行ないます。
- ◎総合文化施設建設事業 13億3,752万円
文化創造の中心拠点施設としての文化施設の建設を行ないます。
- ◎レジデンスパーク道路整備事業 8,830万円
総合文化施設等の周辺の道路整備を行ないます。
- ◎図書購入事業 2,750万円
蔵書データ作成と図書の購入を行います。



役場の新しいサービス

- ◎電話・FAXによる24時間行政情報案内サービス
三股町では、地域情報化の一環として、現在、最も普及している電話やFAXを利用した行政情報サービスを計画しています。
役場への届け出や手続き方法、施設の利用方法、生活関連情報、イベント情報などを24時間、年中無休でお伝えできるようになります。
サービス開始時期については、広報紙でお知らせします。



都市公園整備事業

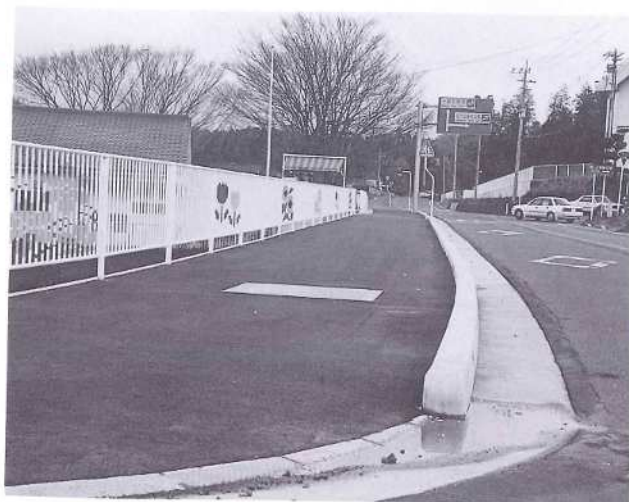
上米公園の駐車場整備と用地取得、植木公園の園路や便所等の整備を行なったほか、町内各都市公園の整備及び維持管理を行ないました。

事業費 2億4,964万円
写真は植木公園の園路と便所

交通安全施設整備事業

児童生徒の登下校並びに一般歩行者の安全を確保するために、勝岡藜池線の歩道を整備しました。

事業費 6,508万円
延長 453m
幅員 3m



切寄線道路改良事業

平成4年度から取り組んでいた山之口町境から県道都城北郷線に至る道路改良が完成しました。

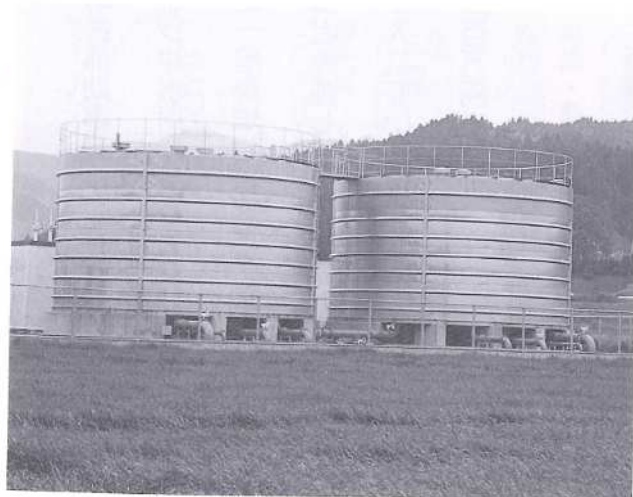
事業費 7,000万円
延長 453m
幅員 3m



中央浄水場整備工事

浄水設備の老朽に伴い、浄水池と電気・機械の整備を行ないました。

事業費 1億8,260万円
浄水池 280m³×2基



写真でお知らせする 平成8年度の主な事業

中学校施設整備事業

中学校の運動場の砂ぼこりの防止のために火山灰土（真砂土）を敷き詰めたほか、6ヵ所の散水設備を設け、排水を良くするために排水施設を整備しました。

事業費 5,766万円



総合文化施設建設事業

平成10年度に完成予定の総合文化施設の用地取得と設計を行ないました。

事業費 1億8,783万円
写真は、総合文化施設の完成予想図



レジデンスパーク整備事業

総合文化施設及びレジデンスパーク整備開発に伴う雨水対策として幹線排水路の整備を行ないました。

事業費 1億2,350万円
延長 942m
排水管(1m角)は、道路下1mの所に埋設してあります。





汚水処理施設

埋立場の最大の特徴は、全面に耐久性のある厚さ1・5mmの遮水シートが施され、汚水が地下に浸透しないようになっています。そして、埋立地から出る汚水は、魚の骨状に敷設した集水管により調

わずか15年で満杯

処分場は、敷地面積約6・4ヘクタール、埋立面積は、約1・4ヘクタールで、埋立容量は、約七万八千三百㎡。この量は、三股中学校のプールに置き換えると約千五百杯ほどです。この量を現在のゴミの排出量の動向や人口の伸びなどから換算すると、わずか15年あまりで満杯になると予想されています。

整池に集められ、1日処理量120㎡の処理施設で生物処理及び活性炭による高度処理を行い、きれいな水にして河川に放流します。

搬入はカードを利用

搬入する場合は、職員の指示に従い、次の手順で行なうことになります。

- ① 信号機が青になったら計量器に車を移動します。
- ② 係員がゴミの内容を調べてから、カードを渡し、進む方向を指示します。
- ③ 渡されたカードをカードリーダーに差し込みます。(計量終了の音声流れれます)
- ④ カードを抜き取り、埋立地へ進みます。(制限速度を厳守してください)
- ⑤ 埋立地では、係員の指示する場所にごみを下ろしてください。
- ⑥ 帰りの青信号で計量器まで進み係員にカードを渡してください。(計量終了の音声流れます)
- ⑦ 対向車に十分注意してお帰りください。



最終処分場が完成

4月21日から受入れ

町では、厚生省所轄国庫補助金補助事業及び年金積立金還元融資を受け、平成4年度から沖水川に架かる高才原大橋の北東部に建設を進めていた一般廃棄物最終処分場(クリーンヒルみまた)が、このほど完成し、4月21日から不燃物の一般廃棄物の搬入を受け入れています。予算総額は、約十三億七千五百万円です。

搬入できないものは

この処分場は、燃やせるごみや産業廃棄物、次の廃棄物などの搬入はできません。

爆発、火災など 危険性のあるもの

ガスボンベ・シンナー・ガソリン・消火器・塗料・バイクなど

医療系廃棄物

注射針・包帯・ガーゼなど

水質汚濁の恐れがあるもの

廃油・農薬・劇薬物・バッテリーなど

建設廃棄物

断熱材・瓦・レンガ・ブロック・コンクリート・廃木材・鋼材など

その他、公害等の 恐れのあるもの

廃タイヤ・農業用ビニールなど

搬入時間と搬入日

【搬入時間】

(午前) 午前9時～正午
(午後) 午後1時～午後4時30分

【搬入日】

毎週、月曜・火曜・金曜・土曜・日曜
※水曜日と木曜日は休みです。

※年末年始は異なりますのでご注意ください。

【連絡先】 一般廃棄物最終処分場

TEL: 52-5424

(場所)



三股の50年を探る

今からさかのぼること49年前、戦後混乱まだ覚めやらぬ昭和23年5月、この町は「三股村」から「三股町」へ生まれ変わりました。そして、来年の5月で満50歳を迎えます。その間、町は大きく姿を変えました。人口は今や2万4千人に迫ろうとしています。また、産業も農業を中心とする第一次産業主導から、製造業サービス業、卸売業などの第2・3次産業主導へと移行し、発展しています。今日に至るまで、町は、どのような変遷をたどってきたのでしょうか？そこで、今月号から1年間、「三股の50年を探る」と題して、これまでの町の歴史をシリーズで掲載していきたいと思っています。

第一回目は、元役場の職員であった梶山にお住まいの小牧憲三さん（81歳）にお話を伺いました。



行ないました。それぞれの農家が一生懸命取り組んだ姿が、今でも目に浮かびます。

問 次に当時のおもしろい話題などありましたら教えてください。

小牧 おもしろい話題と言えば、自動車のことでしょうか。

昭和20年代、荷を運ぶのはほとんどが荷馬車でした。その頃、町内には2台のトラックがあったのを記憶しています。当時、自動車は、大変珍しく、高価なものでした。確か、製材業の2社が所有していたと思います。

町制施行当時の役場庁舎



問 小牧さんは、長年役場にお勤めだったと伺っていますが、いつから勤められたのですか？

小牧 私は、昭和20年12月に役場に勤めました。あの頃は、確か、職員は30名ぐらいだったと記憶しています。

問 その頃、どんなお仕事をしていたらいいですか？

小牧 勧業係という主に米の供出に携わる仕事をしていました。

その当時は、国や県が市町村の米の供出量を決め、役場は、その量をそれぞれの農家に配分しました。戦後、食べるものにも困る時代だったので、すべての農家が供出に応じるはずはございません。

大変苦しいとは知りつつも、

園の建設に切り替えられました。

問 最後にこれからの町に期待することを教えてください。

小牧 これからの時代は、個人の自主性を尊重することが大切だと思います。

また、幸せを求めるためには、みんなで協力していくことも大切です。

役場に対しては、住民との対話を大事にしてほしいです。

町制施行50周年を契機に、自然を活かしながら町民が結集して、更に町が発展していくことを願っています。



小牧憲三さん
大正5年1月6日生まれ
昭和20年12月役場に奉職。
勧業係に勤務。昭和22年経済課長、昭和37年総務課長を歴任され、昭和46年3月に退職。

役場が車を購入したのは、それから数年後で、国の補助事業を利用して40万円でトラックを購入しました。これが町内で3台目となったわけです。

問 次に、三股町は、早くから道路整備を行なったと伺ったことがあります。どうなのでしょう？

小牧 そうですね。確かに県内でも早くから取り掛かったほうだと思います。

三股小学校から新馬場に抜ける途中にある陸橋は、昭和22年に計画されたもので、当時としては画期的なものとして注目を集めました。

また、都三道路も昭和23年ごろ計画されました。あの頃、県の担当者から道路の幅員を11mにしたいと話を持ち掛けられたときは、役場の職員は皆驚きました。町としては、6mで計画していましたので。

問 そのほか、町のこれまでの歴史で何かお話しいただくことがございますか？

記念誌の写真を募集

町では、町制50周年を記念して、今年度、記念誌を作成いたします。

記念誌は、町の歴史を振り返る上で大変重要なものです。特に、写真は、その時代の生活や習慣、出来事が一目で理解できるもので、記念誌を作成する上で欠くことのできないものです。

そこで、家庭のアルバムなどに保存してある三股町の古い写真などがありましたら、お貸しいただきたいと思っております。

お借りした写真は、大切に扱い、掲載したらすぐにお返しいたします。



応募要領

写真の裏に、撮影年・場所・内容を記入（記入用紙は、役場にありますが）して、左記のところに持って来てください。

応募先・問い合わせ

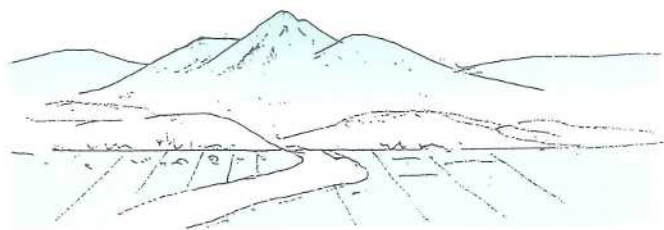
役場企画調整課
☎52-1111内線243
※応募されたすべての方に、後日、粗品を進呈いたします。

募集写真

・明治・大正・昭和（昭和40年以前）のもので、三股町にまつわるもの
・祭、出来事、生活習慣、農業など

募集期間

平成9年6月末日まで



ふるさとへの便り

児玉淳一 (49)

(大野出身)

母さん、元気ですか。
年老いた母一人を山あいの村に残し、都会でサラリーマン生活をしている私にとって、母さんを想い出すたび胸の奥に痛みを感じるこの頃です。私の方は幸いにして良き友人に恵まれ、仕事の方も何とか頑張っております。又、家族全員至って健康ですのでご安心ください。

最近、宮崎・鹿児島地方での強い地震のニュースが伝わってきましたが三股の方は大丈夫でしょうか。「地震」と聞くと、とても人事とは思えません。我が家では娘の部屋の掛け時計は5時46分です。また、1995年1月17日の午前5時46分です。あの日、娘は「ゴ」という不気味なうなり音をかすかに聞いたと言います。その娘が未だに掛け時計に手を触れようとはしないのです。その日の朝、白々と夜が明けてみると我が家の庭先にも亀裂が走り、屋根は波打って瓦がずれ落ちていました。その後絶え間なく続く余震の恐怖に怯え、就寝時には

ヘルメットとズック、急ごしらえの非常用リュックを枕元に置く生活が続きました。そんな家族の不安な気持ちに後ろ髪を引かれながら、私は職場である神戸港に向かいました。陸での交通手段は遮断され、海上便を余儀なくされての出勤でした。会社の支店事務所は無残に全壊し、書類等運び出すのがやっとの事でした。かろうじて残った現場事務所を仮本部とし、まず社員や家族の安否を皆で手分けして確認することから始めました。その後約1ヶ月間は職場

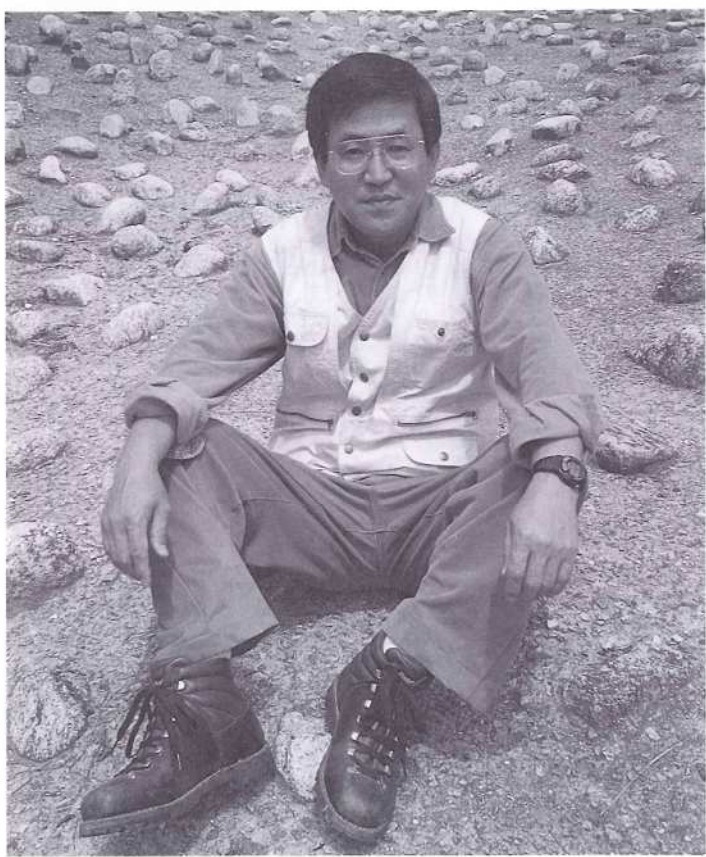
に泊まる事が多く、ブルーシートを利用した自衛隊の仮設風呂には大勢の人が集まり、避難者の方たちと共にお世話になりました。たまに自宅に帰ってみると、主の私がない状態にも拘わらず、妻の実家である四国からは大工さんや左官やさんが家の補修に来てくれ、京都にいる息子の友人たちも、慣れぬ屋根仕事に精を出してくれているではありませんか。このような姿は我が家以外にもあちこちで見られ、私だけでなく絶望感に打ちひしがれている人々に

とって、勇気づけられ再生への希望を抱かせてくれるものでした。あの日の地震は、高速道路やビルを崩壊・座屈させ、ライフラインを寸断し、都市機能を一瞬にして破壊し尽くしましたが、再生の槌音と共にようやく以前の明るさを取り戻しつつあります。私の住む宝塚市でも安産のお守り有名な中山寺には休日ともなると大勢の人がお参りに訪れ、宝塚歌劇場では女性ファンが列を作り相変わらずのブームです。

最近の私はいえ、高校生の頃登った鰐塚山や大野の庭先から良く見える柳嶽を想いながら、休日に近辺の山々を妻と二人で歩いています。

では、体に気を付けていつまでも元気でいて下さい。又お便りします。

今回は、野崎博美さん(大野出身)にリレーします。



アメリカからのお便り

前三股町国際交流員のグレン・アンダーソンさんからお手紙をいただきました。
そこで、今月号では、そのお手紙を紹介します。

ご無沙汰しております。三股の皆さんは元気でしょうか。そこらは桜の季節も終り、つつじが咲く頃でしょう。椎八重公園で花見の計画を立て、おいしいビールを飲まれることと思います。新年度が始まり、いろいろ準備をしたりして大変忙しい時間だと思えます。

さて、こちらは年明けにケンタッキー州の南端へ引っ越してからようやく落ち着いてきた頃です。現在住んでいる町は、小さく

て(人口約8千人)暮らしやすいところですが、承知の上でですが、アメリカは最近、企業の合併・買収活動、合理化などによる全国チェーンの普及が激化される中で、個人・家族経営の店が大企業の競争力に圧倒され、相次ぎ消えていく傾向をみせています。そして結果的にアメリカのどこに行っても風景が変わらないという印象を与えられてしまうのは非常に残念なことです。

但し、幸い、今住んでいる町はそういった時代を一部外れているところですが、ピザ、サンドウィッチなどを提供するファースト・フード店、コンビニ、スタンド、ATM、ドライブ・スルーなどを全部一軒にそろえたモダンな店ももちろんあります。しかし、そればかりではありません。何十年も同じ人が経営してきた店もたくさん残っています。こういった所はコスト削減などを徹底的に行い、何でもかんでも節約しようとしているような店ではありません。常連客を大切にし、ある程度余裕を持った人間らしい店です。

毎週土曜日の朝食は、『Ma & Pat's Diner』(母ちゃん

と父ちゃんの食堂)という、名前の通り、非常にシンプルなお店です。入った途端に何人かの来客に目を付けられ、『あつ、外人だ』と言われるのではないかと感じさせられました。席をとってしばらくするとウェイトレスさんに『どこから来たの。顔は知らないからきつとこの人間じゃないでしょう』と言われて、自分がよそのものだという実感をしました。

その次の土曜日にまた行って前回と同じくホットケーキを頼みました。すると、3回目行ったとき、まだ席をとらないうちにウェイトレスさんが来て、『今日もホットケーキかね』と聞きました。『いや、今回は違うものにしてみる』と返事したらウェイトレスさんが裏にいるコックの人に『今日は違うんだって』と呼びました。裏から笑い声がきこえてきました。

Ma & Pat's Dinerの真ん中当りには大きな丸いテーブルがあります。このテーブルだけは、必ず開店から閉店まで人でいっぱいです。常連客の溜まり場となっています。常連客がこのテーブルに集め、ウェイト



レスをからかったり、ウェイトレスにからかわれたりしながらいつも話をにぎやかにしています。いつ行けばあのテーブルが空いている(別にそこに座りたいわけではないが)と思つて一度朝の5:30に行つてみました。すでに4、5人が座っていました。他のテーブルは全部空いていました。皆はひとり、ふたりできているが、一緒に座るらしい。そしてひとりか食べ終わって帰つても次の人が来て代りになります。だから人が少しずつ代るとしても人はずっとそこに座っています。少しづつ顔も覚えてきています。

この町での滞在は8月までだし、いるうちに数多くの友達を作ることも期待していません。ところが、上記のような個性のあるところをたくさん楽しめればと思えます。またお便りします。ではお元気で。



グレン・アンダーソン



第3回フォトコンテスト表彰式

「春・夏・秋・冬inみまた」をテーマに、三股町のすばらしい自然風物を表現する「第3回三股町フォトコンテスト」の受賞式が3月28日、役場で開かれました。今回の応募は、8名19展で、どの作品も、町の自然をうまく撮影したものばかり。厳正な審査の結果、次の方々の作品が入選に選ばれました。

賞	氏名	題名
特選	堀添 勇一	祭の夜
準特選	堀内 久則	奴踊り
準特選	白元 政智	琵琶の宵
入選	桐野 見一	春雨
入選	篠塚 成光	みどりと自然のヒョウモンチョウ
入選	山下 盛親	長田川

きれいな川を取り戻すために

河川をきれいにするために定期的にパトロールを行ったり、水質調査を実施している町が委嘱した河川浄化推進員（推進員9名）は、3月4日の午後、沖水川の河川敷のごみ拾いを行いました。

わずか2時間程度でしたが、集められたごみは、トラックに満杯となり、その量の多さに推進員は一同に、驚いていました。

主なごみは、ジュース缶、ペットボトル、レジ袋、トレイなどで、中には、古タイヤや1斗缶なども捨ててありました。



町のピーアールと 子供の健やかな成長を願って

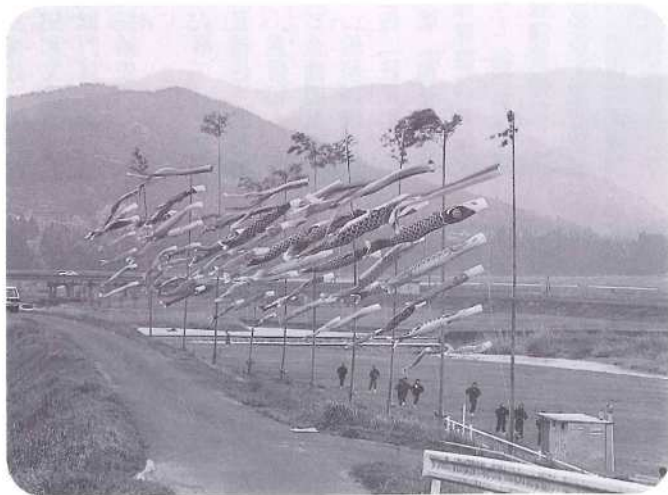
町観光協会（会長 広瀬吉信）では、春の観光シーズンを迎え、観光客へのサービスと子供の健やかな成長を願って、三股橋下河川敷に鯉のぼりを設置しました。

その数は、竹竿10本に、各家庭で不要になった鯉のぼり約70匹。

春の風に泳ぐたくさんの鯉のぼりに、橋を往来する方々は、しばし足を止め、眺める場面も見られました。

設置期間は、5月下旬まで。

鯉のぼりをご提供してくださいました皆様、本当にありがとうございました。



縄文ビーナス太鼓が完成

長田で陶芸を行なう園田一成さんは、陶器製の太鼓づくりに挑戦し、このほど大小合わせて8個が完成。

装飾あざやかな瓶に似た陶器に、豚革が張ってあるので、その名は「ビーナス縄文太鼓」。

名前の由来は、長田に縄文時代の土器や遺跡が発掘されることから命名したといいます。

早速、この太鼓を使い、地域の婦人6名で演奏グループを結成、連日練習に励んでいます。

4月27日に椎八重公園で開催される琵琶コンサートの前座で御披露目されます。

お楽しみに！



Photo Snap まちの話題



国際交流を深める インドネシアの留学生がホームステイ

日本の文化と生活を知りたいと、さきほど前目の今村照男さん宅に、インドネシアから留学しているアンドレアスさんがホームステイしました。

アンドレアスさんは、昨年、日本を訪れ、東京の学校で1年間日本語などを勉強。4月からは、北九州市にある北九州高専で学ばれています。

2週間ほどの滞在中、里芋の植え付けなど農作業を一生懸命手伝い、家族の一員として触れ合ったそうです。

今村さん宅では、この5年ほどの間に10名ほどの外国人が滞在しているといいます。

写真は、町長室を訪れた時の模様。（中央がアンドレアスさん）。

交通安全を呼び掛ける

町交通安全婦人部（部長 中西初子 部員11名）と町交通指導員会（会長 原口一善 会員18名）では、春の交通安全運動（4月6日から15日）期間中の交通事故防止を呼び掛けようと、去る4月7日の午後2時から給食センター前の県道で、交通安全街頭キャンペーンを行いました。

キャンペーンには、警察や都城地区交通安全協会女性交通指導員などの協力もあり25名が参加。道行くドライバーに安全祈願のお守りと飲み物などを配布しました。

お守りは、わら草履をまねたミニ飾りで、梶山にお住まいの黒木キミ子さん(72)の手作りにより200組が用意されました。心温まる贈り物にドライバーは大変喜んでいました。



教育研究の成果を発表 平成8年度教育研究所閉所式

平成8年度教育研究所の閉所式が3月13日、役場の4階会議室で開かれました。

この研究所は、昨年5月に開所したもので、10名の研究員は、1年の間60回にもわたる研究会を実施。教育水準と教職員の資質の向上に努めました。

閉所式では、山元町長、中西教育長、北諸県教育事務所長などから挨拶がありました。

式の最後では、研究員全員で、この1年間の研究成果をスライドを使い発表。詰めかけた教育関係者から高い評価を受けました。

なお、研究員は、2年の任期であり、今回3名が退所しました。



三股町初の女性課長が誕生 異動総数は、73名

三股町は、4月1日、課長級13名、課長補佐級12名、係長級17名、一般職31名(新採12名を含む)、計73名の定期人事異動を発表しました。その中で、女性管理職としては、初めて女性の課長が誕生しました。

また、今年度、女性の農業技術者を採用、農林振興課に配属されました。



宣誓文を読み上げる新規職員

役場の人事異動

()は旧職名

【新規採用職員】
配属 氏名
税務課納税管理係 上村 竜一
町民生活課国民年金係 新原 正人
福祉保健課国保係 森 加代子
福祉保健課児童福祉係 山元 美和

【課長級】
総務課長・白濱丸雄(町立病院事務長) 企画調整課長兼駅前開発推進室長・木佐貫辰生(企画調整課長補佐) 町民生活課長・財部一男(福祉保健課長) 福祉保健課長・兒玉 浩(議会事務局長) 耕地課長・瀬尾春己(建設課課長補佐) 建設課長・上徳徳生(駅前開発推進室長) 町立病院事務長・和田輝義(企画調整課長) 会計課長・谷山悦子(会計課課長補佐) 議会事務局長・野元祥一(総務課課長補佐) 農業委員会事務局長・原田一彦(給食センター)所長 総合文化施設建設推進室長・神宮司

学(生涯学習課課長補佐) 給食センター)所長・間世田和文(税務課課長補佐) 町民生活課課長補佐 正(町民生活課課長補佐)

【課長補佐級】
総務課課長補佐(人事)・上村陽一(学校教育課課長補佐) 総務課課長補佐(行政)・重信和人(総務課消防防災係長) 企画調整課長補佐・岩松健一(総務課課長補佐) 税務課課長補佐(住民税・納税管理)・指宿秋廣(福祉保健課課長補佐) 福祉保健課課長補佐(国保)・岩元安子(福祉保健課課長補佐) 畜産課課長補佐・森正一(畜産課畜産係長) 建設課課長補佐・中原昭一(都市計画課課長補佐) 都市計画課課長補佐・下沖常美(生涯学習課課長補佐) 学校教育課課長補佐・下石康博(建設課課長補佐) 生涯学習課課長補佐・大坪博文(生涯学習課社会教育係長) 水道局次長・渡邊知昌(税務課納税管理係長) 町立病院看護婦長・宮之原泰子(町立病院看護科主幹)

【係長級】
総務課行政係長・久寿米木和秋(宮崎県研修派遣) 財政課財政係長・永吉雅彦(財政課財政係) 企画調整課商工観光係長・川野 浩(財政課財政係) 企画調整課調査統計係長・王原弘子(税務課固定資産課係長) 企画調整課情報システム係長・鍋倉祐三(企画調整

課情報システム係 駅前開発推進室開発推進係長・福重久和(企画調整課企画調整係) 税務課固定資産課係長・南畑伸一郎(税務課固定資産課係) 税務課納税管理係長・山元道弥(生涯学習課公民館係長) 町民生活課環境保全係長・久保田 理(福祉保健課児童福祉係) 町民生活課戸籍住民係長・内村陽一郎(町民生活課戸籍住民係) 生涯学習課社会体育係長・中原信昭(企画調整課商工観光係) 会計課会計係長・坂元いづ子(企画調整課調査統計係長) 建設課建築係長・筒井ヤスエ(農林振興課農林振興係) 建設課維持係長・桑畑和也(水道局工務係長) 都市計画課都市計画係長・上原雅彦(都市計画課都市計画係) 健康管理センター)予防係長・山口トヨ子(町立病院看護婦長) 総合文化施設建設推進室施設係長・本村正博(生涯学習課施設係長)

【二般職】
総務課行政係・兒玉昭人(建設課維持係) 総務課人事係・下沖博秋(総務課行政係) 財政課財政係・西山雄二(財政課管財係) 財政課財政係・石崎良子(会計課会計係) 財政課管財係・山内和広(福祉保健課社会福祉係) 税務課固定資産課係・溝口幸子(建設課土木係) 福祉保健課児童福祉係・補和代(耕地課耕地係) 福祉保健課社会福祉係・永山 誠(水道局総

務係) 町民生活課戸籍住民係・竹村恵美(農林振興課農政係) 農林振興課農林振興係・水川由美子(農業委員会庶務農政係) 建設課土木係・永吉美子(耕地課耕地係) 耕地課耕地係・原 れい子(福祉保健課児童福祉係) 会計課会計係・頼川宗一郎(税務課納税管理係) 議会事務局書記・弓削知子(学校教育課学校教育係) 学校教育課学校教育係・酒井あきみ(財政課財政係) 生涯学習課公民館係・加村弘子(畜産課畜産係) 総合文化施設建設推進室施設係・新地 浩(生涯学習課公民館係) 在宅介護支援センター・野口陽子(健康管理センター)保健指導係(健康センター)保健指導係 宮崎県研修派遣・山元 博(町民生活課戸籍住民係)

【退職】平成9年3月31日付
大峰 美成(総務課長)
永吉 康美(建設課長)
竹田 良彦(町民室長)
宮里 勇美(農業委員会事務局長)
工藤 完治(耕地課長)
徳田 綱雄(町民生活課長)
桑畑 一道(会計課長)
清水 禮子(町民生活課主幹)
中石 重徳(総務課主幹)
松下タイ子
安田千賀子(健康管理センター係長)
郷田千恵子(議会事務局主事)

Library Information

図書室だよりNo.109

中央公民館図書室



NEW BOOKS

【一般向】

海賊丸漂着異聞 満坂 太郎
闇に消えた怪人 一橋 文哉
原発を見に行こう 上坂 冬子
いのち 柳田 邦男
心は遺伝子をこえるか 木下清一郎
不機嫌な果実 林 真理子
よみがえる百舌 逢坂 剛
奪取 真保 裕一
蒲生邸事件 宮部みゆき
二つの約束 上・下 ダニエル・スティール
一行誌面と向かっていえないひと言

恋忘れ草 吉村 英夫
レキシントンの幽霊 北原亜以子
ホワイトアウト 村上 春樹
真保 裕一

【小・中学生向】

みにくいあひるの子とよばれたひ 伴 一彦
ねこの手もかりんとふたつ鬼切城の鍵太郎 矢玉 四郎

赤い羽のアラ姫 末吉 暁子
こぶたのもしもし 森山 京
なわとびカードがとんだ 竹野 栄
きつねバスついたかな あまんきみこ
おなかでラビコ やすいすえこ
まねきねこやのこねこくん 山脇 恭
ぶたぶたパラダイス 川北 亮司
ちびっこ太郎 松谷みよ子
椋鳩十動物童話集全十五巻 椋 鳩十
お江戸の百太郎 全六巻 那須 正幹

【幼児向】

ごしごしあらっておふろにどぼん 木村 裕一
ひとりであんちできるかな 〃
シャンプーだいすき 〃
かたかな絵本アイウエオ 五味 太郎
ことばのあいうえお 〃
11びきのねことあほうどり 馬場のぼる
11びきのねことどろんこ 〃

『お知らせ』

子どもの読書週間

5月1日から5月14日までが子どもの読書週間となっています。

標語「ヨンデクレ！君のヒーロー出番まち」

映写会・お話会の開催

子どもの読書週間にちなんで5月10日(土)午後、映写会(子供向)やお話会を実施します。

多読賞の表彰

子どもの読書週間にちなんでたくさんの本を読んだ小、中学生を表彰します。

・5月10日(土) 午前中

※対象者には文書で連絡いたします。

皆さんの声を図書室に

図書室ではみなさんのご意見・ご要望をお待ちしております。

読みたい本など、何でもご相談ください。

(問い合わせ先)

三股中央公民館図書室

☎52-1111 内線192

5月の休館日

	日	月	火	水	木	金	土
I					1		3
II	4	5	6				
III		12	13				
IV	18		20				
V		26	27				

※数字は休みの日

お知らせ



募集

【財都教育英会への寄付について】

財都教育英会は、都城市、北諸県5町出身の大学生に奨学金を貸与しています。

当育英会は、特定公益増進法人の指定を受けており、寄付をしてくださった場合、寄付金控除として所得税の軽減が受けられます。有能な人材を育成するため、ご協力をお願いします。

【問い合わせ】

都城市教育委員会 学校教育課
内 都城育英会事務局
☎ 2319544

国税専門官募集

人事院と国税庁では、国税専門官採用試験の受験者を募集しています。

募集要項は、次のとおりです。

■受験資格
昭和45年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた方で、学歴は問いません。

■試験の程度
大学卒業程度

■申込書の受付期間
5月6日(火)から

5月13日(火)まで

■申込用紙

人事院九州事務局、熊本国税局または都城税務署に請求してください。

■受験申込先

〒860

熊本市二の丸1-2

熊本国税局人事第二課

■問い合わせ

人事院九州事務局

☎ 092-431-7733

熊本国税局

☎ 096-354-6171

都城税務署

☎ 2214377

21世紀の道路のあり方に

ついて意見を募集

あなたの声が進んでいくか、それか。建設省の諮問機関である道路審議会の「21世紀の生活と道を考える会」は、平成10年度からスタートする新しい道路計画の基本的な考え方の「中間とりまとめ」を作成しました。

今年度の道路政策のめざすべき方向や、渋滞の緩和・くらしと道のかかわり・交通安全の確保などの重要なテーマについて、あなたの自由なご意見・ご提案をお寄せください。

（意見・提案は郵送のほか、FAX、電子メールでもお出し頂けます。）

募集期間は、平成9年5月6日までです。

「中間とりまとめ」を入手された方は、以下にお問い合わせください。

・建設省九州地方建設局宮崎工務事務所 調査第2課 岡元

☎ 0985-241-8221

・建設省九州地方建設局延岡工務事務所 調査第2課 廣田

☎ 0982-311-1155

・宮崎県土木部道路建設課 計画調査係 児玉

☎ 0985-261-7180

献血

次のおり献血が予定されています。献血に対するご協力をよろしくお願ひします。

■日時 5月15日(木)
午前9時～午後4時

■場所 三股町役場

■問い合わせ 役場町民生活課
☎ 5211111 内線112

一般廃棄物最終処分場を見学してみませんか

ごみについての理解を深めていただくために、最終処分場では、施設見学を受け付けています。

■見学期間
毎週火曜、金曜、土曜、日曜

※都合により見学できない場合もあります。

※月曜、水曜、木曜は見学できません。

■見学期間
【午前】午前10時～正午

【午後】午後1時30分～午後3時30分

■申込方法
各種団体並びに概ね10名以上のグループを受け付けます。

申込は、見学予定日の1週間前までに電話または直接申し込んでください。

■申込先
役場町民生活課
☎ 5211111 内線112

☎ 5215424

その他

「青い鳥郵便はがき」の発行について

郵便局では、身体障害者の福祉に対する国民の理解と認識を更に深めることを目的として、「青い鳥郵便はがき」を発行しています。

このはがきは、郵便局で販売(50円)するほか、重度の身体障害者のお申し出により無償で配布します。

■配布対象者
重度の身体障害者(1級及び2級)

■受付期間
6月2日(月)まで

■問い合わせ
三股郵便局
☎ 5211042

納税は、便利な口座振替を利用しましょう

詳しくは役場税務課へ
52-1111

退任

河野喜和氏(48歳)が
助役を退任されました



河野喜和氏

退任のあいさつ

3月31日をもって三股町助役を退任しました。

平成7年2月に就任して以来、2年2ヵ月、町民の皆様のご期待に十分添えなかつたと存じますが、暖かいご理解とご協力によりまして、楽しく仕事をさせていただきました。心から感謝申し上げます。

今後は、県の行政の中で三股町の応援団長の気持ちで、ふるさと三股のために、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

本当にありがとうございます。

河野さんは、4月から県福祉生活部国民健康保険対策監として、県庁にお勤めです。

催し

まのしまんぢだ

(一市6町の行事の紹介)

●都城市

○パルンピア'97
第10回熱気球都城大会

■期間

5月3日(土)～5月5日(月)

■場所 太郎坊町 大淀川河川敷

■内容 熱気球体験搭乗など

■問い合わせ 市観光振興課
☎ 2312754

○第4回あやままつり

■期日

5月4日(日)

■場所 早水公園

■内容 民俗芸能発表大会など

■問い合わせ 祝吉地区公民館
☎ 2312890

●山之口町

○村おこし朝市

■日時 5月11日(日)午前7時～

■場所 J.R山之口駅前広場

■内容 新鮮農産物販売

■問い合わせ 役場企画開発課
☎ 5713111

●高城町

花木親交会

■えびね展

4月下旬の土・日曜日

■さつき展

5月下旬の土・日曜日

■会場 観音池公園内展示場

■問い合わせ 役場商工観光課
☎ 5812311

●山田町

○コジケイチャリティ公演

■日時 4月29日(火)午後6時30分

■場所 山田町体育館

■内容 歌謡ショーなど

■問い合わせ 役場企画調整課
☎ 6411111

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおり頂きました。

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきました。

誠にありがとうございます。

平成9年3月1日から

平成9年3月31日まで

寄付者 続柄 故人名 地区 金額

中嶋キミエ 夫 實 92 山王原 3万円

水井政雄 妻 トキ 74 今市 3万円

中西シエ 夫 秋雄 70 樺田 3万円

宮里みち母 ユク 99 小鷲菜 5万円

小牧ハツ夫 礼 101 梶山 3万円
橋本浩彦 父 幸雄 69 植木 3万円
久保次男 母 ケサラ 91 樺田 2万円
松山量朗 父 明 86 下新 3万円
※故松山明氏が集められていた
1,484円も寄付していただきました。

訂正とお詫び
先月号の愛のご寄付で誤りがありました。訂正して深くお詫びいたします。
(記載文)
崎田花子 妻 数美 77 田上 5万円
(訂正文)
崎田数美 妻 花子 77 田上 5万円



歳時記

街角の風を売るなり風車
三好 達治
春になって、街に風車売りの姿が見られたのでしよう。

ここでは、風車は「かざぐるま」と読みます。春風が吹くと、子どもがこれを手にして遊ぶことから春の季節語になっています。

でも、最近の若者はこうしてがんと手をあまり手にしたことがないので風車を「ふうしゃ」と読み、オランダなどでみかける風景を思い浮かべるかもしれません。

風車は色紙やセルロイド、プラスチックなどに切り込みを入れたり、羽型に組み合わせる車輪型にしたりしたものを竹の先につけて風で回すのを楽しみます。子どもはこれを持って走りながら遊びます。あかちゃん用にはつるして回すのを見せるものもあります。

風車

風車は、昔中国から伝来したように、日本では平安時代には子どもが持つて遊んでいたともいわれています。最近もお祭りなどで売っているのを見かけることがあります。

また、この春開通した岡山自動車道では、分離帯の軍配型の遮光版の中に花を描いた風車のようなのものが交じっていて、ドライバの心をなごませています。

春風とともに小鳥の鳴き声もにぎやかになってきます。毎年五月十日から十六日まで「愛鳥週間」です。野鳥の住む環境、野鳥と共生する環境こそ人間にとってもすばらしい環境といえます。

